

講演会
&
座談会

平時の取り組みが活きた 能登半島地震後の支え合い

～富山県氷見市の実践から学ぶ～



令和6年元日に起こった地震。
発災後の安否確認、
支え合いの活動、
平時の地域の取り組みが
震災後に果たした役割は!?



令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、被害を受けた富山県氷見市。非常時にいち早くスムーズに安否確認ができたその背景には、**日頃からの見守りや支え合いのしくみである「ケアネット活動」など、平時からの地域の取り組みがあった——**

「氷見市災害ボランティア・支えあいセンター」の実践から学びます。



とき

令和7年 **2月2日** 
13:30～16:00 (受付13:00～)

ところ

伊賀市文化会館さまざまホール
(伊賀市西明寺 3240-2 ☎0595-22-0511)

第1部 講演会 (13:40～14:40)

◇講演 **「平時の取り組みが活きた
能登半島地震後の支え合い」**

◇講師／(福)氷見市社会福祉協議会
事務局次長 **森脇 俊二氏**

第2部 座談会 (14:50～15:50)

◇進行／平井俊圭 (伊賀市社会福祉協議会会長)

◇登壇者／(福)氷見市社会福祉協議会 事務局次長 **森脇 俊二氏**
伊賀市民、伊賀市職員、伊賀市社協職員



◇講師プロフィール

もりわきしゅんじ
森脇 俊二

(福)氷見市社会福祉協議会 事務局次長 (地域福祉・ボランティア推進課長)

入職以来、ボランティアコーディネーター(H13)、ボランティア総合センター所長(H18)、地域福祉部長(H19)、事務局次長(H26)で現在に至る。令和6年1月1日に発生した能登半島地震からの復旧・復興に向けて開設した「災害ボランティア・支えあいセンター」責任者として運営を担当。

問い合わせ先 伊賀市社会福祉法人連絡会事務局 (伊賀市社会福祉協議会内)
☎0595-21-5866・FAX26-0002

■主催／伊賀市社会福祉法人連絡会

■後援／伊賀市、伊賀市民生委員児童委員連合会、名張市社会福祉法人連絡会、三重県社会福祉協議会

事前申込不要
参加費無料